

<「建国記念の日」反対 2026・2・11 集会 於：林野会館 20260211>

「やさしい」日本国憲法のはなし

小沢隆一（東京慈恵会医科大学名誉教授）

はじめに

- ・タイトルが「わかりやすい」「おもしろい」話を期待させたとしたら、ご容赦を。
- ・話の中身は、いたって「まじめ」で、結構「面倒くさい」もの
- ・「大変な時代」とくに「若い世代」にとって展望の見えない時代
- ・そんな「時代」でも日本国憲法は「やさしくなろうよ」という原理・原則が満載の憲法

1.憲法 9 条の意義

- ・憲法 9 条の本来の意義は「非武装平和主義」
- ・それは「国際紛争の平和的解決」を加盟国に義務付けた国連憲章のシステムと一体
- ・国連が「集団安全保障措置」を講ずるならば、日本は非武装でも安心
- ・国連も日本国憲法も人類の壮大な「実験」 賭けるに値する「試み」

2.憲法 9 条はなぜ、どのようにして歪められてきたのか

- ・憲法 9 条の「非武装」が最初に侵されたのは朝鮮戦争 それによる米軍駐留継続の容認
- ・すなわち 9 条を最初に侵したのは、「自衛隊」（日本再軍備）ではなく、「米軍」（安保）
- ・変わっていく政府解釈 1946 年(吉田)→1950 年(吉田)→1954 年(大村)

3.ヘイトと排外主義の時代に

- ・最近の「排外主義」の根源は何処に？ 多様な「源泉」(戦前由来レイシズム、「日本會議」など改憲勢力、生活困難を抱えるロウアーミドル)
- ・日本の「排外主義」の根の浅さ、「あやふや」さ 「泣いた赤鬼」を思い起こそう
- ・市民の人権思想が問われている 戦後民主主義教育に確信を

4.思想の自由と個人の尊厳との関係

- ・若者たちのなかであふれる「個人の尊厳」と「思想の自由」の賛歌
Ado 「可愛くてごめん」 「私が私のこと愛して何が悪いの」「変わり者とバカにされても曲げたくない」「尊くてごめん」
欅坂 46 「不協和音」 「まわりの誰もが頷いたとしても僕は Yes と言わない」「ここで主張まげたら生きてる価値ない」
- ・日本国憲法の浸透 「思想の自由」の絶対性 「思想犯」の死語化 治安維持法と真逆

5.なぜ 10 か条も「刑事人権」規定があるのか

- ・31条「適正手続の保障」の大切さ 「手続き的人権」の具体性
- ・三木清が受けた仕打ち 『人生論ノート』をくれた学生

6.学問の自由と教育を受ける権利の意義

- ・明治憲法になかった「2つ」（学問の自由・教育を受ける権利）が入った日本国憲法
- ・「わからずや」に対抗する「すべ」としての学問と教育
Ado 「うっせえわ」「正しさとは愚かさとは それが何かみせつけてやる」「一切合切凡庸なあなたじゃ分からぬかもね」

7.なぜ議員定数は削減しては「ならない」のか 軍事費はなぜ増えるのか

- ・日本の議院内閣制を「理解しない」定数削減論 それに「乗る」市民の憲法感覚
- ・根拠の乏しい「台湾有事」論 踊らされ煽られての大軍拡 途方もない負担
- ・高等教育の失敗 日本の若者の9割近くは高等教育修了者 なぜ流行るフェイク

8.司法、学問、教育の「独立」の意義

- ・「特殊なもの」が独立していることの意義 司法・学問・教育の「立場」の尊重を
- ・岡口弾劾裁判 学術会議会員任命拒否 教員の日の丸・君が代拒否
Ado 「エルフ」「挑みなさい君の美しさや尊さを傷つけるモノに」「その心臓は最後の一打ちまで君のものだ」

9.日本国憲法の「総体性」(トータリティ)

- ・日本国憲法の柱は9条 その「総合性」(トータリティ)を壊してはならない
- ・9条は日本国憲法の要石 (キーストーン) それを抜いたらアーチは崩壊する

むすび

「やさしい」人たちへ 「やさしくなりたい」人たちへ
斎藤和義「やさしくなりたい」「愛なき時代に生まれたわけじゃない 強くなりたい やさしくなりたい」「愛なき時代に生きてるわけじゃない 手を繋ぎたい やさしくなりたい」

参考文献

- ・小沢隆一『日米核軍事同盟と憲法9条』(新日本出版社・2025年)
- ・同「『戦後80年』と日本国憲法—その歴史的意義についての覚書」法と民主主義 600・601合併号(2025年8月)
- ・同「戦後80年目の憲法情勢にどう臨むか」経済362号(2025年11月)
- ・同「学術会議法人化は学問と社会をどう変えるか—憲法学の視点から」人間と教育 128号(2025年12月)
- ・同「大軍拡と財政民主主義」前衛1064号(2026年3月・既刊)